

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【公表番号】特表 2005-537830(P2005-537830A)
【公表日】平成 17 年 12 月 15 日 (2005.12.15)
【年通号数】公開・登録公報 2005-049
【出願番号】特願 2004-524236(P2004-524236)
【国際特許分類】

A 6 1 B 17/12 (2006.01)

【F I】
A 6 1 B 17/12

【手続補正書】
【提出日】平成 18 年 7 月 26 日 (2006.7.26)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

次の構成：

細長い可撓性の糸状内部要素と、
該内部要素を同軸に取り囲み且つそれと密接に接触した非金属製の中間要素と、
該中間要素を同軸に取り囲み且つそれと密接に接触した外部要素であって該中間要素を露出させるギャップ又は開口を画定するものと
を備えた脈管閉塞用装置。

【請求項 2】

内部要素が、金属ワイヤー及び重合体フィラメントよりなる群から選択される生体適合性材料から作られたマイクロコイルを含む、請求項 1 に記載の脈管閉塞用装置。

【請求項 3】

中間要素が膨張性重合体材料を含む請求項 1 又は 2 に記載の脈管閉塞用装置。

【請求項 4】

外部要素が、中間要素を露出させるギャップ又は開口を画定する間隔をあけて巻き付けられたらせん状コイル部分を含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか に記載の脈管閉塞用装置。

【請求項 5】

内部要素が近位末端及び遠位末端を有し、しかも脈管閉塞用装置が該近位末端に取り付けられる連結要素をさらに備えた、請求項 1 ～ 4 のいずれか に記載の脈管閉塞用装置。

【請求項 6】

膨張性重合体材料が本質的にヒドロゲルからなる請求項 3 に記載の脈管閉塞用装置。

【請求項 7】

ヒドロゲルが環境パラメーターの変化に応答して膨張するタイプのものである請求項 6 に記載の脈管閉塞用装置。

【請求項 8】

環境パラメーターが温度及び pH よりなる群から選択される請求項 7 に記載の脈管閉塞用装置。

【請求項 9】

中間要素が、膨張するときに外部要素の開口を通して拡大して、凸状に湾曲した弓状セグメントの連鎖を画定する波状形状を有する外部表面を形成する、請求項 1 ～ 8 のいずれ

かに記載の脈管閉塞用装置。

【請求項 10】

内部要素が近位末端及び遠位末端を有し、しかも外部要素が、それぞれ該内部要素に該内部要素の該近位末端と該遠位末端とに隣接して取り付けられた近位末端部と遠位末端部との間に広がる、ギャップ又は開口を画定する間隔をあけて巻き付けられたらせん状コイル部分を含む、請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載の脈管閉塞用装置。

【請求項 11】

外部要素の近位末端部がきつく巻き付けられたらせん状コイル部を含む、請求項 10 に記載の脈管閉塞用装置。

【請求項 12】

外部要素の近位末端部及び遠位末端部のそれぞれがきつく巻き付けられたらせん状コイル部を含む、請求項 10 に記載の脈管閉塞用装置。

【請求項 13】

内部要素の近位末端と外部要素の近位末端部とに取り付けられる連結要素をさらに備えた、請求項 11 に記載の脈管閉塞用装置。

【請求項 14】

内部要素及び中間要素の少なくとも一つが少なくとも部分的に非金属製の生体適合性材料から作られた、請求項 1 ～ 13 のいずれかに記載の脈管閉塞用装置。

【請求項 15】

生体適合性材料が生物活性剤を含む、請求項 14 に記載の脈管閉塞用装置。

【請求項 16】

生体適合性材料が治療用化合物を含む、請求項 14 に記載の脈管閉塞用装置。